

酒吞童子山地域のプロファイル

酒吞童子山は上津江村と中津江村の2つの村の境界に広がる標高約1180mの山です。山裾は大きく広がり、川原川と鯛生川に挟まれた山岳地帯で、全体的にスギの人工林が多くなっており、尾根筋や谷ぞいに僅かに自然林が残されています。



津江山系県立自然公園概念図



酒呑童子山地域は津江山系県立自然公園内にあります。その公園は酒呑童子山、釈迦ヶ岳、御前岳（権現岳）、渡神岳などの山々を中心として、前津江村、中津江村、上津江村から日田市、大山町まで広がっています。山頂帯や溪谷ぞいには、ブナ、ミズナラ、シオジなどの原生林が残されており、溪谷は深いV字形になっているのが特徴です。